

福島大会

第44回全国公民館研究集会 令和4年度東北地区社会教育研究大会

10月13日^木・14日^金

会場

いわき市文化センター



研究
主題

継承と創造による持続可能な社会教育の在り方
～新たな時代の地域コミュニティを目指して～



◆ 福島県内の方のみ会場参加

◆ 県外の方はリモート参加

① Zoom でライブ視聴

② YouTube 限定配信視聴



参加費

◆ 福島県内の方 3,000 円 (要項・記録集 含)

◆ 福島県外の方 1,500 円 (配信視聴・記録集 含)

(全体会: 当日 Live 視聴, 分科会: 後日 YouTube 視聴)

対象者

◆ 各県・市町村の社会教育委員

◆ 公民館関係者 ◆ 社会教育関係者

◆ 学校教育関係者

◆ 生涯学習・社会教育に関心のある方

主催

公益社団法人全国公民館連合会、一般社団法人全国社会教育委員連合、東北地区社会教育委員連絡協議会、東北地区公民館連絡協議会、福島県市町村社会教育委員連絡協議会、福島県公民館連絡協議会

共催

いわき市教育委員会

後援

文部科学省、全国公民館振興市町村連盟、社会教育団体振興協議会、青森県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、秋田県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会、福島県、いわき市、福島県市長会、福島県町村会、福島県市町村教育委員会連絡協議会、福島県都市教育長協議会、福島県町村教育長協議会、福島県小学校長会、福島県中学校長会、福島県特別支援学校長会、福島県高等学校長協会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ふくしまFM

大会内容

趣 旨

価値観やライフスタイルの多様化、急激な少子高齢化等を背景とした地域コミュニティの衰退が、人と人のつながりや支え合いを希薄化させ、さらに、新型コロナウイルスの感染拡大が生活様式を大きく変える等、社会は先の見えない不安と混迷の中にある。

また、AIやIoTなどの技術革新に伴う「超スマート社会」の到来により予測困難な時代を迎えようとしている今、持続可能な新しい社会の実現が求められるなど、社会が抱える問題は複雑・多様化している。

このような大きな変化の中、東北各地から社会教育関係者が集い、日頃の社会教育活動の研究成果を学ぶあうことにより、今日的課題に即応した地域づくり・人づくり・つながりづくりの在り方を探るとともに、社会教育の一層の振興・発展を目指す。

10月13日

1日目 10/13(木)	12:00		13:00	14:00	14:30	16:00		16:30
	※ 県外の方等申込者に ZoomでLive配信		会場受付 リモート接続	開会行事 表彰	アトラク ション	記念講演		次期開催 県挨拶 分科会打合せ

開 会 行 事

13:00 ~ 13:50

- (1) 開会の言葉 東北地区社会教育委員連絡協議会 会長 神山 敬章
- (2) 国歌斉唱・公民館の歌（静聴）
- (3) 主催者挨拶 公益社団法人 全国公民館連合会 会長 中西 彰
一般社団法人 全国社会教育委員連合 会長 鈴木 眞理
- (4) 来賓祝辞 文部科学省
福島県教育委員会教育長
いわき市長
- (5) 表 彰 公益社団法人 全国公民館連合会 表彰
東北地区社会教育委員連絡協議会 表彰
東北地区公民館連絡協議会功労者 表彰
福島県市町村社会教育委員連絡協議会 表彰
福島県公民館連絡協議会 表彰
- (6) 閉会の言葉 東北地区公民館連絡協議会 会長 國井 政範

ア ト ラ ク シ ョ ン

14:00 ~ 14:20

- ◆ いわき市無形民俗文化財 「じゃんがら念仏踊り」 菅波青年会
- ◆ フラシティいわき 「フラダンス」 フラ女将^{おかみ} with フラシティブラザーズ

記 念 講 演

14:30 ~ 16:00

- ◆ 演 題 「ご当地ヒーローが叶える持続可能な街づくり」
講 師 ダルライザープランニング 代表 和知 健明 氏
(ダルライザー)



2日目 10/14(金)	9:00 9:30	11:45 12:00	
	会場 受付	分科会	※ 各分科会の様子をビデオ撮影し、県外の方等申込者に 後日YouTube限定公開で配信する。

分科会 9:30 ~ 11:45

※ 第1分科会 ※ テーマ「社会教育委員の役割」

- ◇ コーディネーター 文教大学 人間科学部・人間科学研究科 教授 金藤ふゆ子
- ◆ シンポジスト 宮城県社会教育委員・富谷市教育委員 増田恵美子
福島県社会教育委員の会議議長・福島大学教授 木暮 照正
山形県社会教育連絡協議会会長・山形大学教授 安藤 耕己
秋田県大館市社会教育委員 越前 貞久

※ 第2分科会 ※ テーマ「家庭教育を支える社会教育の役割」

- ◇ 指導助言者 福島大学 地域未来デザインセンター 客員教授 本多 環
- ◆ 事例発表者 青森県今別町社会教育委員 工藤 清子
福島県西会津町家庭教育相談室“こころのオアシス” 紫藤真理子
宮城県教育庁生涯学習課社会教育推進班 高山 弘樹

※ 第3分科会 ※ テーマ「学校・家庭・地域の連携・協働」

- ◇ 指導助言者 PwCコンサルティング合同会社 Education Initiative Manager 高橋 洋平
(元 文部科学省 学校デジタル化プロジェクトチームサブリーダー)
- ◆ 事例発表者 青森県青森市浦町中学校区CSディレクター 工藤知久子
岩手県八幡平市教育委員会 社会教育指導員兼CSアドバイザー 藤嶋 茂美
福島県 公益財団法人星総合病院 大町キッズベース 所長 吉川 和夫

※ 第4分科会 ※ テーマ「現代的課題の解決に向けた社会教育の役割」

- ◇ 指導助言者 福島大学 地域未来デザインセンター 客員教授 天野 和彦
- ◆ 事例発表者 山形県 SMAC (新庄最上アスリートクラブ) 代表 栗田 伸一
岩手県 NPO法人 古館まちづくりの会 理事 石幡 信
福島県 東日本大震災・原子力災害伝承館 常任研究員 青砥 和希
(一般社団法人 未来の準備室 理事長)

※ 第5分科会 ※ テーマ「公民館等社会教育施設の役割」

- ◇ 指導助言者 尚絅学院大学 人文社会学類 教授 松田 道雄
- ◆ 事例発表者 青森県八戸市立大館公民館 館長 高橋 芳久
秋田県大仙市立四ツ屋公民館 館長 児玉 庄司
福島県 福島市中央学習センター 館長 佐藤 義孝
福島県 福島市マスターズクラブ 代表 上村 悠

閉会行事 11:45 ~ 12:00

- ※ 分科会会場ごとに閉会
◆ 大会宣言決議
◆ 閉会宣言

参加申込方法

A) 会場参加【福島県の方のみ】

B) 全体会：オンライン（当日Live視聴）

分科会：YouTube限定配信（後日視聴）

注意 本大会で表彰を受ける方は「参加費無料」です。
お申し込みの際、備考欄にその旨をご記載ください。

◆ 個人で申込みの場合

右下のQRコードからアクセスして申込み
【申込期限：8月31日】

- ◆ A：3,000円（福島県の方のみ）
- ◆ B：1,500円（どなたでも）



◆ 団体で申込みの場合

以下申込HPにアクセスして申込用紙をダウンロードし、
メールで送付 【申込期限：8月31日】

- ◆ A：3,000円（福島県の方のみ）
- ◆ B：1,500円（どなたでも）

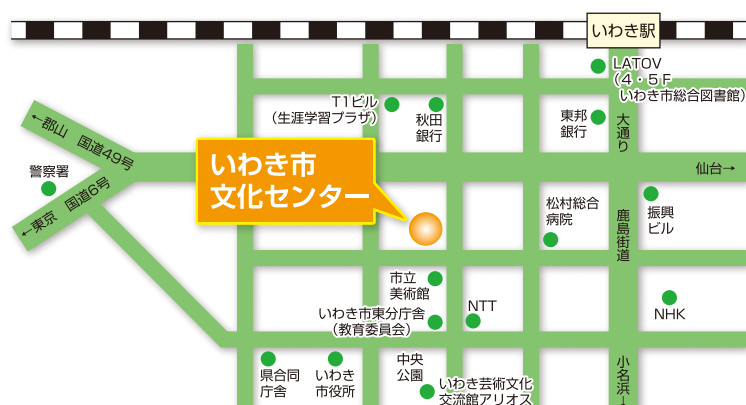
※申込HP：<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/educationiwaki/>
※メール：taikai_fukushima@tobutoptours.co.jp

※ お申込確認後、9月5日以降に**請求書・申込確認書を発送**いたしますので、
9月30日までに、**指定口座に参加費の振込**をお願いいたします。

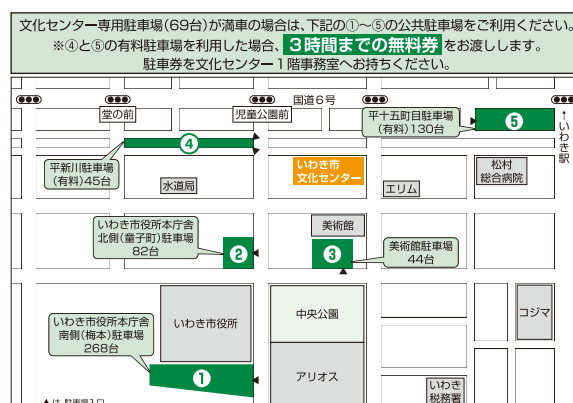
オンライン 配信

- ◆ 10/13の**全体会**は、当日**ZoomでLive配信**します。「B」でお申し込みされた方に、
ミーティングID・パスコード、URL等をお知らせします。
- ◆ 10/14の**分科会**は、**後日YouTube限定公開で配信**します。お申し込みされた方
全員（A・B）に視聴URLをお知らせします。 ※**全ての分科会を視聴できます**（11月配信予定）

会場案内



周辺駐車場



大会 HP

◆大会広報用ホームページ

※詳しい内容がご覧いただけます。
申込用HPにもリンクします。

URL：<https://socialeducation-fukushima.blogspot.com/>

スマホで見づらい場合
横向きにしてください。



大会事務局

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16
福島県教育庁 社会教育課 内【担当：石倉】
TEL：024-521-7799 FAX：024-521-7974
E-mail k.syakaikyoku@pref.fukushima.lg.jp